



受験は団体戦

9年C組 担任

秋休みも終わり、中学校生活もあと5ヶ月余りになりました。どんどん高校入試も近づいてきていますね。学校では、休み時間を利用して先生に質問している姿や学習会後に教室に残って完全下校時刻まで勉強している姿が見られるようになってきました。家庭での姿は、どうでしょうか。受験生のいる家の中は独特の雰囲気がありますよね。親の立場になって考えてみると、相変わらずマイペースな我が子に対して、このままで大丈夫だろうかと心配する一方で、どんな言葉をかければ良いかと悩むこともあるのではないのでしょうか。

ベネッセが高校1年生を対象にしたアンケート(2010年「受験を振り返って」)によると、「親から言われて嫌だった言葉」のベスト3は、

- 1位 早く勉強しなさい
- 2位 頑張って!
- 3位 他の人はもっと頑張ってるんじゃない?

だそうです。意外なのは「頑張って!」が2位に入っていることではないでしょうか。気持ちが不安定になる時期に、「頑張って!」と励ましたつもりが逆にプレッシャーになることもあるようです。また、人と比較されたり、休憩中に勉強を促されたりしたら誰でもやる気が低下しますよね。

では、「言われて嬉しかった言葉」のベスト3は、

- 1位 今まで一生懸命やってきたんだから大丈夫!
- 2位 (普段通りの挨拶や会話)
- 3位 自分を信じて!(自信をもって!)

だそうです。「自信がもてるようになる言葉」「今までの努力を認めてくれる言葉」が嬉しかったようです。また、何か特別な言葉よりも、普段通りの挨拶や会話が安心するようです。

また、同じアンケートで、高校入試を終えた後の約70%の生徒が「自分の進路をよく考えるようになった」「今後の進路決定へのやる気がでた」と回答するなど、入試を通して自分自身を見つめ直すことにつながったと感じているようです。さらに、「自信がついた」「精神的に強くなった」などと自分の力に対する成果も感じている回答も見られました。高校入試は、人生の中での大きな岐路になるとともに、自分を大きく成長させてくれるものでもあります。

よく「受験は団体戦」と言われます。しかし、むしろ個人戦ではないかと思う人も少なくないと思います。もちろん入試は一人で解くものだし、受験勉強は主に一人でやる人が多いでしょう。受験はそんな孤独との戦いなのかもしれません。しかし、あなたは一人ではありません。切磋琢磨する仲間も、何でも質問に答える先生もいます。そして、何より一番支えてくれている家族がいます。「団体戦」とは、受験に向かうための「支え」を意味しているのかもしれないですね。



○生徒の活動の様子

～後期生徒会執行部始動！～



生徒会長 9-B

私は附属を、生徒会として、のびのびして、でも基礎はしっかりとして、その上で皆が皆らしくいきいきとできるような学校にしたいと思っています。リーダーだけで話し合いをするのではなく、7、8年生とも話し合ったり、意見をもらったりして学校全体でより良い附属を創りたいと思っています。力不足かも知れませんが、全力で頑張ります！よろしくお願いします。

副会長 9-A

*批判を避けたいのであれば、何もせず、何も言わず、何者にもなるべきではない。
—アリストテレス—*

何者でもない者はおそらく人間のふりをした動く植物だと思うので、人間であるためにあと半年頑張らしましょう。そして、私も頑張ります。

副会長 9-B

私は、幼稚園の頃から附属で過ごしてきました。この12年間で附属はたくさんの新しい伝統を創り上げてきました。新しい伝統の中で、良かったことも悪かったこともあると思います。私は、最後の半年間、附属の良い伝統を生徒会のみんと共に、下級生に引き継ぐ思いで精一杯がんばりたいと思います。

書記長 9-C

ももとは、副会長で出ようと思っていたんです。公約もそのときと変えていません。どの役職でも、仕事に区別はないそうです。しっかり「全体で主義」を目指します。

会計長 9-C

会計長としての仕事はありますが、その他はどの役職にも違いはないと思っています。なので、自分の仕事に責任を持ち、会計の仕事に取り組みつつ、自分が執行部になってやりたかったことを実現できるようにしていきたいと思います。附族生のことを一番に思って自分ができることを考え、全力で取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願いします。

～後期始業式（10/28）～

後期の始業式が行われました。9年生にとっては附属で過ごす最後の半年間です。後悔のない半年を過ごせるよう、何事も全力で取り組みましょう！



～学習会～

放課後に学習会が行われています。目下に迫る学力診断テストに向けて、どのクラスも真剣な様子で学習会に臨んでいました。

